

第1回海老名市高齢者虐待地域連絡会議事録

平成26年7月18日(金)

午前10時～12時

市役所3階政策審議室

○出席委員(2名欠席、根岸委員、佐藤委員)

前田委員、高橋委員、熊坂委員、市川委員、大谷委員、宮前委員、佐々木委員、鈴木委員、瀧川委員、川村委員、大乘委員

○市職員事務局

小澤高齢介護課長、萩原高齢者支援係長、菅野主任主事、山崎主事補

●第1回連絡会

1 開会

2 会長あいさつ

会長よりあいさつ

昨年12月に前会長より引き継いだ。施設にせよご家庭にせよ、余生を静かに送る高齢者への虐待はあってはならないものである。一方で、私も何度も見たことがあるが、熱心に介護を行っているにも関わらず、ご本人や家族の方から理解が得られず、思わず口や手を出してしまうケースもあり、何をもって虐待とするかも、難しい問題となっている。委員それぞれの立場から多様な意見をいただき、虐待の早期発見や未然防止に繋げていきたい。

3 委員紹介

委員自己紹介

4 議題

(1) 海老名市における高齢者虐待の状況について・前田会長により進行

事務局より説明

虐待連絡会の設置の経緯と市が取り組むべき業務及び虐待が疑われる事案発生時の対応や通報ルートについて、資料2及び3により萩原係長より説明。

その後、資料1により海老名市の高齢者虐待の状況・個別事例について山崎主事補・菅野主任主事より説明。

委員：次男の障がい者手帳の更新の連絡は、前の市から届いていなかったのか。

事務局：連絡は届いていない。前の市でもずいぶん前に更新が切れていた。

委員：障がい年金が止まり、次男があわてて色々な書類を見ていくうちに判明した。

委員：手帳がもっと早くつながっていたら、支援が早かったのではないかと思う。

会長：次男の手帳更新ができなかったのは、本人に認知症があったためか。

委員：支援者が会ったときにはすでに認知症だったため、わからない。

副会長：手帳の更新に関して、市から連絡はないのか。

委員：精神障がいの場合は届かないので、支援者側が覚えていないといけない。

委員：これからそういった方は増えると思う。そういった方とつながる方法を考えてい
かないといけない。

委員：理解・判断力に乏しい方が手帳を持っているのに、その方に自分で申請をという
のは難しいのではないか。何か支援はないのか。

事務局：障がい福祉課からドリームや社会福祉協議会の支援を入れるのが公的な支援の
方法としてある。

委員：自分からはできないため、更新申請の手がかりを作ってあげる必要がある。

会長：手帳を持っていない人には障がい福祉課から訪問等はないのか。

事務局：健康づくり課の保健師が行っている。

会長：今回の事例では、精神疾患を抱えた息子の支援が重要。待つのではなくて、積極
的な支援をしたおかげで良い方向に動いた。

委員：今後もこのように連携して行ってほしい。

(2) 高齢者虐待防止研修実施報告

事務局より説明

昨年実施した高齢者虐待防止研修について、菅野主任主事より報告。

副会長：こういった研修があったなら、聞きたい。人権擁護委員の方々も参加したがる
と思う。

事務局：今年はケアマネ事業所等を対象に高齢者虐待防止法に関する研修を行いたいと
考えているが、そこに参加していただく形で考えたい。

委員：そういった研修があればぜひ参加したい。

委員：デイサービスの代表の方や家族会の方の参加も検討してほしい。

事務局：人が増えると、講義を専門的な内容にするのか、浅く広い内容にするのか等、
難しくなる。これから講師や日程等を調整していく上で、検討していきたい。

会長：警察での保護等はあるか。

委員：警察に来るケースというのは、限界をこえたケースとなるので、あまり多くはな
い。警察に来る前の時点で支援を行うことが必要。

委員：支援する側が連携して分担して支援を行っていく必要がある。支援する側が疲弊
しないような工夫が必要。いくつかの機関の方が顔を合わせて講義を受けるよう
な研修を開催してほしい。

委員：市に専門的に相談できる人は何人いるか。

事務局：高齢介護課は2人で、障がい福祉課が6人、健康づくり課の保健師が8人ほど
いる。健康づくり課の保健師は、地区担当という形式をとっている。

委員：2人では人数が足りないのではないか。

事務局：高齢介護課のケースワーカーは、人数が規定されているわけではないので、こ
れまでの流れで人数が決まっている。2人が動けないときや足りない時は、係の
他の者が対応する等、フォローすることはできている。

会長：横のつながりで連絡会を開けたらいいと思う。

事務局：地域包括ケア会議や医療と介護の連携がその役割を担うことになると考えてい
る。

(3) その他

事務局より今後の予定について

啓発活動について、資料5をご覧ください。11月15日広報えびなに高齢者特集とともに記事を掲載した。今年度も時期は未定だが掲載を予定している。定型化している面もあるので、表現を工夫して関心が高まるような記事にしたいと考えている。

5 閉会

高橋副会長より